

「ムサシテレビ」で学生が映像制作、大学紹介などを配信 —キャンパス閉鎖のため、高校生らに武蔵大のリアルな魅力を伝える—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、社会実践プロジェクト*の一つ「武蔵テレビプロジェクト」（以下、ムサシテレビ）において、学生が制作した大学紹介などの映像を、高校生らに向けて配信する取り組みを行っている。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるキャンパス閉鎖の影響により、大学見学に来られない高校生・受験生、また、入学後まだ一度もキャンパスに足を踏み入れていない新入生に向けて、少しでも大学を知ってもらえるよう配信している。

*社会実践プロジェクトとは？

「講義や実習で得た知識を生かし、社会に向けて自らの知見や主張を積極的に発信していこう」という考えのもと、より現実的で実践的な学びを推進するプロジェクト。映像制作の編集機材や放送スタジオも完備し、約15名が参加している。「ムサシテレビ」の他に「ACプロジェクト」もあり、毎年複数の作品が広告学生賞を受賞している。

ムサシテレビの主な活動について

ムサシテレビの活動として、「映像制作」と「オープンキャンパス生放送」の2つがあります。

■映像制作「学生だから伝えられることを大切に」

高校生が知りたいと思う情報が何なのかをしっかりと考え、学生だから伝えられることや、学生のリアルな意見を伝えることを目標に、年間10～15本制作している。

「自分の思っていることがカメラを通して具現化されることに、とてもワクワクする一方、難しい面もあります。それは、一つの作品に仕上げるには緻密な計算が必要だからです。当然絵コンテなども用意し、話の筋や技術面など十分な事前準備を行います。しかし、予定通りに進まないことが多く、臨機応変な対応ができるかどうか、いつも試されます。」（ムサシテレビ代表：社会学科2年 北川凌さん）



なぜ武蔵大学を選んだのか、インタビューに答える学生

■オープンキャンパスで4時間生放送「制作現場を見て感じて欲しい」

昨年秋から生放送の準備をスタート。半年間、会議を重ね企画内容を検討してきた。

「生放送の良さは、オープンキャンパスに来てくれた方々に現場を見てもらえることです。本当に学生だけで放送しているのか、機材はそろっているのかなど、皆さん、現場を見て驚かれます。」（同 北川さん）
今年のオープンキャンパスは Web 開催を予定していることについては、「オンラインで何かできることはないか検討しています。また、活動が再開したら1年生と一緒に、より魅力ある作品を公開できれば、と思っています。」（同 北川さん）と意欲的だ。



生放送中のスタジオの様子（オープンキャンパスにて）

・高校生や受験生、新入生に向けて配信中
ムサシテレビ youtube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCeuBdhFackuz3wyP4c90V1A/featured>

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：西・齋藤（にし・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020 年 3 月には、[ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて](#)初のロンドン大学学位取得者を輩出、また近年は、国際村を設置するなど、グローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1